

平成16年 3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年 8月13日

上場会社名 住友金属鉱山株式会社
(URL http://www.smm.co.jp/)

(コード番号: 5713 東・大)

代 表 者 代表取締役社長 福島 孝一
問い合わせ先責任者 経理部財務決算担当課長 中山 靖之

(TEL (03) - 3436 - 7926)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
 ② 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有
 ・ 連結子会社数 40社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 6社
 連結 (新規) 1社 (除外) - 社 持分法 (新規) - 社 (除外) - 社

2. 平成16年 3月期 第1四半期 の業績概況 (平成15年4月1日～平成15年6月30日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満四捨五入)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 (四 半 期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年 3月期 第1四半期	90,978	-	5,063	-	5,908	-	4,165	-
15年 3月期 第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 15年 3月期	355,242		16,593		14,559		1,172	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年 3月期 第1四半期	7 29	-
15年 3月期 第1四半期	-	-
(参考) 15年 3月期	2 05	-

(注) 当該四半期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年 3月期 第1四半期	493,224	230,224	46.7	403 20
15年 3月期 第1四半期	-	-	-	-
(参考) 15年 3月期	470,774	223,341	47.4	391 14

3. 平成16年 3月期の中間期連結業績予想 (平成15年4月1日～平成15年9月30日)

	予 想 売 上 高	予 想 経 常 利 益	予 想 当 期 純 利 益	1株当たり 予 想 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中 間 期	190,000	8,000	5,500	9 63

※上記の予想は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

経営成績および財政状態

1. 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等

（単位：億円）[]内は単独 < >内は連単倍率

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 16 年 3 月期第 1 四半期	910 [660] <1.4>	51 [41] <1.2>	59 [47] <1.3>	42 [30] <1.4>
（参考）平成 15 年 3 月期	3,552 [2,465] <1.4>	166 [113] <1.5>	146 [99] <1.5>	12 [88] <->

当第 1 四半期のわが国経済は、設備投資につきましては持ち直しの動きが見られたものの、個人消費は依然として弱含みで推移するなど、景気はおおむね横ばいで推移しました。

非鉄金属業界におきましては、ニッケル、金の好調は続きましたが、銅につきましては依然として低迷しました。また、エレクトロニクス関連業界におきましては、緩やかな回復基調であったものの、在庫調整等の影響があり、不透明感のある状況が続きました。

このような状況のなか、当社といたしましては、平成 14 年 2 月に発表いたしました「中期経営計画」に基づき、事業構造改革とコスト構造改革に取り組んでまいりました結果、当第 1 四半期の連結売上高は 9 0 9 億 7 8 百万円、連結営業利益は 5 0 億 6 3 百万円、連結経常利益は 5 9 億 8 百万円、税金等調整前当期純利益は 6 3 億 8 百万円、連結当期純利益は 4 1 億 6 5 百万円となりました。

2. 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

総資産は、コーラルベイニッケル（株）の新規連結および社債償還資金の前倒し調達により、4,932億24百万円と平成15年3月末に比べ224億50百万円増加しました。また、株主資本は2,302億24百万円となり、株主資本比率は46.7%となりました。

3. 業績予想（連結）に関する定性的情報等

第 2 四半期以降につきましても、わが国経済の先行き不安と米国経済の回復不透明感から引き続き厳しい事業環境で推移するものと予想しております。

中間期業績の見通しといたしましては、営業利益につきましては、電子・機能性材料部門が一部の海外関係会社の回復遅れによりやや未達となるものの資源・金属部門の好転により、当初予定を達成できるものと見込んでおります。経常利益につきましては、持分法による投資利益の増加により、5 億円増益の 8 0 億円を見込んでおります。税引後当期純利益も同様に 5 億円増益の 5 5 億円になるものと予想しております。

4. 業績予想（個別）の修正

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	140,000	5,500	3,000

個別中間期業績につきましては、ニッケルおよび金の価格上昇により経常利益が当初予想に比べ10億円増益の55億円となり、税引後当期純利益も10億円増益の30億円になるものと予想しております。

四半期連結（要約）貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当第1四半期 (H15/6)	前連結会計年度 (H15/3)
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	183,675	173,226
現金および預金	30,640	14,029
受取手形および売掛金	59,071	59,648
たな卸資産	62,785	68,004
その他の他	32,347	32,684
貸倒引当金	1,168	1,139
固 定 資 産	309,549	297,548
有 形 固 定 資 産	180,174	169,373
建物および構築物	61,653	62,238
機械装置および車両・運搬具	70,147	65,706
土地	29,724	29,756
その他	18,650	11,673
無 形 固 定 資 産	5,218	5,575
投資その他の資産	124,157	122,600
投資有価証券	109,606	105,525
繰延税金資産	10,382	12,747
その他の他	6,794	7,215
貸倒引当金	1,529	1,518
投資損失引当金	1,096	1,369
資 産 合 計	493,224	470,774
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	136,449	137,281
支払手形および買掛金	27,969	28,463
短期借入金	64,931	65,329
一年以内償還予定社債	10,000	10,000
その他の他	33,549	33,489
固 定 負 債	117,619	104,155
社 債	56,000	46,000
長期借入金	33,690	30,470
退職給付引当金	14,675	14,298
その他の他	13,254	13,387
負 債 合 計	254,068	241,436
(少 数 株 主 持 分)		
少 数 株 主 持 分	8,932	5,997
(資 本 の 部)		
資 本 金	88,355	88,355
資 本 剰 余 金	81,184	81,184
利 益 剰 余 金	65,493	64,183
その他有価証券評価差額金	2,924	2,217
為替換算調整勘定	7,324	7,763
自己株式	408	401
資 本 合 計	230,224	223,341
負債、少数株主持分および資本合計	493,224	470,774

四半期連結（要約）損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当第1四半期 (H15.4～15.6)	前連結会計年度 (H14.4～15.3)
売 上 高	90,978	355,242
売 上 原 価	78,795	303,478
売 上 総 利 益	12,183	51,764
販売費および一般管理費	7,120	35,171
営 業 利 益	5,063	16,593
営 業 外 収 益	2,076	6,690
受取利息および受取配当金	378	1,074
持分法による投資利益	1,121	3,400
そ の 他	577	2,216
営 業 外 費 用	1,231	8,724
支 払 利 息	562	2,533
そ の 他	669	6,191
経 常 利 益	5,908	14,559
特 別 利 益	1,221	3,743
特 別 損 失	821	25,807
税金等調整前当期純利益または純損失（ ）	6,308	7,505
法 人 税 等	2,047	6,426
少 数 株 主 利 益	96	93
当 期 純 利 益 又 は 純 損 失 （ ）	4,165	1,172

セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(単位:百万円)

	当 第1四半期 (平成15年4月1日～平成15年6月30日)							
	資源部門	金属および 金属加工部門	電子材料および 機能性材料部門	住宅・建材 部門	その他 部門	計	消 去 または全社	連 結
売上高および 営業利益								
売 上 高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,199	51,967	31,112	3,454	1,246	90,978	—	90,978
(2) セグメント間の 内部売上高 または振替高	2,350	9,697	1,398	—	1,124	14,569	△ 14,569	—
計	5,549	61,664	32,510	3,454	2,370	105,547	△ 14,569	90,978
営 業 費 用	4,935	58,510	31,115	3,531	2,286	100,377	△ 14,462	85,915
営 業 利 益	614	3,154	1,395	△ 77	84	5,170	△ 107	5,063

	前 連結会計年度 (平成14年4月1日～平成15年3月31日)							
	資源部門	金属および 金属加工部門	電子材料および 機能性材料部門	住宅・建材 部門	その他 部門	計	消 去 または全社	連 結
売上高および 営業利益								
売 上 高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	15,566	186,442	127,788	16,456	8,990	355,242	—	355,242
(2) セグメント間の 内部売上高 または振替高	9,106	39,901	5,135	285	3,385	57,812	△ 57,812	—
計	24,672	226,343	132,923	16,741	12,375	413,054	△ 57,812	355,242
営 業 費 用	21,990	218,017	128,805	17,093	11,740	397,645	△ 58,996	338,649
営 業 利 益	2,682	8,326	4,118	△ 352	635	15,409	1,184	16,593

(注) 事業区分の方法および各区分に属する主要な製品または事業の内容
企業集団が採用している利益センター区分を基礎に、製品の種類、性質および製造方法などを勘案し区分しております。

事 業 区 分	主 要 製 品 等
資 源 部 門	金銀鉱、銅精鉱および電気銅、地質調査等
金 属 お よ び 金 属 加 工 部 門	電気銅、電気金、ニッケル、伸銅品等
電 子 材 料 お よ び 機 能 性 材 料 部 門	エレクトロニクス材料、電子部品、機能性材料
住 宅 ・ 建 材 部 門	軽量気泡コンクリート(ソレックス)、住宅等の設計施工等
そ の 他 部 門	原子力エンジニアリング等